

アーティストインレジデンス

山本耕一郎「八戸のうわさ」
アーティスト・トーク

2月12日(土) 13:30~15:00
@ 八戸ポータルミュージアムはっち 1F シアター1

□出演：山本耕一郎(アーティスト)

加藤種男(アサヒビール芸術文化財団事務局長・はっちアドバイザーボード委員)

進行：吉川由美(「はっち」文化創造事業ディレクター)

□参加無料

八戸の中心市街地は、黄色の吹き出しに彩られている。
2010年夏から取材を行い、吹き出しを制作する過程で、
山本さんと街の人たちとの間にはどんなコミュニケーションが
繰り広げられたのでしょうか。また、それは八戸の中心街に
何をもたらしたのでしょうか。
リレーショナル・アートと地域の関係についてトークします。



2月12日のボクの
アーティスト・トークに
ぜひ、いらしてください。
お待ちしております。



「はっち」工事フェンスには巨大フキダシを展示。
中央の「八戸は美人が多いみたいだよ」のふきだし前では
記念撮影をする人たちが!



8/29のホコテンで
「うわさ」バッジを
無料プレゼントしました

まちの人と話すの
おもしろい。
毎日たくさんのお店を
取材させて
いただきました



「はちのへホコテン」参加

ふきだし型「うわさ」バッジを無料配布。
自分のうわさをバッジにして
つけて歩くと
行き交う人同士が
思わずにっこり!なんてことも。

■8月29日(日)

2010年 9月

「はちのへ出会い景」
写真展

八戸で出逢ったまちのひとたちの素顔を、
その時の「景」とともに紹介しました。
うわさバッジを制作・配布しました。
たくさんの老若男女がはっちラボを訪れました。

■7月下旬~9月3日(金)10:00~19:00
■会場:hacchi labo はっちラボ
八戸市十六日町20-2 旧Ann



けっこう
良い写真撮れました

三日町感謝のタベ
「はっち誕生前年祭」参加

ふきだし型「うわさ」バッジを配布しました。
■9月1日(水)・2日(木)・3日(金)
18:00~20:00
■開催場所:さくら野百貨店八戸店
立体駐車場5階

2010年 8月

はっちラボを拠点に
中心街を
取材して歩きました。



ヤグラ横町の「はっちラボ」。

商店街のみなさん、ありがとうございました。



ヴィアノヴァ1F「ノイトラ」のキレイなお姉さんに
少々照れながら「うわさ」ネタを聞き出しました。



老舗「大友陶器店」さんの昔話も楽しい「うわさ」に。



誰でも、すぐ仲良くなってしまふんです。



ご本人も意識していなかったお話をうまく引出す、
アーティスト山本耕一郎。

アーティスト山本耕一郎のうわさ



1969年名古屋生まれ。筑波大学卒。英国ロイヤルカレッジ
オブアート大学院修了。「アサヒアートフェスティバル」、「トヨタ
子どもとアーティストの出会い」などに参加。英国セントラル
ランカシャー大学非常勤講師、英国サリー大学非常勤講師の
後、筑波大学非常勤講師。

<http://kyworks.net/>

まちの人たちのうわさが書かれたフキダシを商店街に貼り出
す「ニッポンのうわさ」シリーズや、小学生と一緒にまちに住む
人たちの記念日が書かれたカレンダーを作る「まちカレ」な
ど、地域と深く関わるプロジェクトを展開している。今回は、山
本耕一郎 Art Project 2010として活動。

したらしい

すごく元気な
店員さんが
入ったらしいよ

はっち
780
12? hacchi

タバコ屋だけ
禁煙したい
らしい

ラーメン屋だけ
カレーが
得意らしいよ

冬の海を見ると
泣いちゃう...って
店長が言ってたよ

店長は今でも、
小説家志望
なんだって

最近
生ま

来たらしい

2時間ものの
サスペンスが
好きなんだって

スタッフは每晚
人気の八戸焼きで
晩酌してるらしい

従業員が全員、
健康オタク
らしい

店長は、ニンジンが
苦手らしい

おかみさんは
「津軽海峡冬景色」
が上手らしい

はっちオープニング特別事業
アーティストインレジデンス

八戸のうわさ

hachinohe-no uwasa

by 山本耕一郎

いるらしい

今年で
創業80周年
らしいよ

2月8日(火)~3月13日(日)

八戸市中心街

十三日町・三日町・八日町・廿三日町
ヤグラ横丁・番町・本八戸駅・八戸駅

ご主人の趣味は
温泉巡りらしい

この店長は
英語ペラペラ
らしいよ

スタッフに
三味線や尺八の達人
がいるらしい

今年

はっち
780
12? hacchi

○主催・お問い合わせ先
八戸ポータルミュージアムはっち
〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1
TEL:0178-22-8228 FAX:0178-22-8808
Mail:hacchi@city.hachinohe.aomori.jp

<http://hacchi.jp>

はっちオープニング特別事業
アーティストインレジデンス

八戸のうわさ Hachinohe-no Uwasa まっぷ

「八戸のうわさ」
の楽しみかた

このマップを片手に八戸の中心街に貼り出された
600枚の「うわさ」を探しながら歩いてみてください。
黙っているのにお店の人と会話しているかのような
「うわさ」のあるまちを楽しんでください。
そして、おしゃべりしたくなったらぜひ会話してください。

「八戸のうわさ」は、アーティスト 山本耕一郎による
人と人との絆をつなぐアート・プロジェクトです。
2010年夏から3回、のべ40日間八戸に滞在し、
歴史の古い中心街で約90の店舗や事業所を一軒一軒取材。
まちの人たちの小さな自慢や趣味や悩み、うれしかったことなどを聞き出して、
それを「うわさ」風の文体にまとめ、フキダシ型のシールにしました。
全部で600以上のそのフキダシが、それぞれの店や事業所のウィンドウに貼り出されます。
「うわさ」があふれる八戸の中心街は、いつもとは違う表情をかもし出します。
このまちに生きる人たちの素顔が浮かんでくる「うわさ」のあるまち。
昔ながらのお隣り同士も、お互いの知らなかった一面を改めて発見します。
見えないコミュニケーションの糸が、人と人との絆を結びます。

セカイカメラ版 『八戸のうわさ』

スマートフォンのアプリケーション「セカイカメラ」で街を見ると、さらに約100あまりの、そこでしか見ることができない「うわさ」を見ることができます。
ご覧になりたい方は、はっちでiPhoneを無料で貸し出します。ご希望の方は期間中、はっち1階のインフォメーションにお越しください。

- 後援
八戸中心商店街連絡協議会
八戸商工会議所
株式会社まちづくり八戸
- 協賛
SoftBank
- 協力
クリエイティブユニット トライポッド スタジオ

- フキダシが貼られているお店・事業所
- セカイカメラ(スマートフォンのアプリケーション)で「うわさ」を見ることができる場所

※八戸駅にもフキダシがあります。
セカイカメラ版『八戸のうわさ』も見られます。